

アンバサダー
香取慎吾さん



就任コメント

美術展のアンバサダーを務めるのは今回が初めてですが、『いまを生きる歓び』という、誰もが共感できる、あたたかく愛おしいテーマにとても惹かれました。

アートが好きな僕としては、オルセー美術館の素晴らしい作品たちに出会えることに、今からとてもワクワクしています。

今はスマホひとつで、さまざまなものを楽しめる時代ですが、だからこそ、本物の作品を目の前にして感じるものがあると思います。

ゴッホの《星月夜》、ミレーの《落穂拾い》をはじめとする名作に出会える特別な時間を、ぜひ皆さんと一緒に楽しみたいと思います。

グッズ

※価格はいずれも税込
※各種デザイン・価格は変更となる可能性があります

てらおかなつみさんによるイラストグッズや、BEAMS DESIGNのアパレルグッズなど、本展限定のスペシャルグッズを多数ご用意!



てらおかなつみデザイン
Tシャツ
4,400円

BEAMS DESIGN
ロングスリーブTシャツ
(ロートレック)
7,920円

イベント

記念講演会①「What a Wonderful World いまを生きる歓び」

日時 2026年11月14日(土) 14:00～15:30

登壇者 エドゥアール・パペ (オルセー美術館 彫刻部門 首席学芸員)

記念講演会②「オルセー美術館40年の軌跡」

日時 2027年2月6日(土) 14:00～15:30

登壇者 高橋明也 (東京都美術館長/オルセー美術館開館準備室に在籍)

※会場はいずれも東京都美術館 講堂 ※聴講無料、事前申込制
※詳細は展覧会公式サイトをご確認ください

展覧会公式サイト <https://art.nikkei.com/orsay2627/>

展覧会公式 X・Instagram @orsay2026_27

お問い合わせ 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

Ticket

チケット情報

全ての前売券の販売期間
9月28日(月)～11月13日(金)

	通常券	前売券	
一般	2,400円	2,200円	*18歳以下、高校生以下無料。*身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者(1名まで)は無料。*18歳以下、高校生、大学・専門学校生、65歳以上の方、各種お手帳をお持ちの方は、いずれも証明できるものをご提示ください。*12月8日(火)～18日(金)の平日は、大学・専門学校生は無料。
大学・専門学校生	1,300円	1,100円	
65歳以上	1,600円	1,400円	

1月29日(金)までのご来場限定! もっとお得な前売券情報

人気アイテムの 引換券付き

本展 スペシャル グッズセット券

利用期間 11月14日(土)～2027年1月29日(金)

① 5,500円(一般1枚)

「FEILER」ハンカチ (ファン・ゴッホ《星月夜》柄) チケット限定縁取りカラー付き券 ※会場で販売するハンカチ (ネイビーの縁取り) とは異なり、本券限定のイエローの縁取りです。



② 3,740円(一般1枚)

「Rollbahn」ロールバーン ポケット付メモ L (ファン・ゴッホ《星月夜》柄) 付き券 ※会場で販売する商品と同じです。大人気アイテムを必ず入手できる数量限定券です。



③ 13,200円(一般1枚)

「BRIGITTE TANAKA」バッグ (スーラ《サーカス(下絵)》柄) 付き券 ※会場で販売する商品と同じです。大人気アイテムを必ず入手できる数量限定券です。



④ 13,200円(一般1枚)

「BRIGITTE TANAKA」バッグ (ドガ《ル・ペルティエ通りのオペラ座の稽古場》柄) 付き券 ※会場で販売する商品と同じです。大人気アイテムを必ず入手できる数量限定券です。



平日16時以降に ゆったり鑑賞

平日限定 トワイライト券

比較的ゆったりとご覧になれる会期前半の平日夕方限定券です。少しお得に、じっくり鑑賞を楽しみたい方におすすめ!

利用期間 11月17日(火)～2027年1月29日(金)の
平日16時以降のみ入室可能

販売価格 2,100円(一般1枚、平日16時以降のみ入室可能)

各券の販売場所・購入方法詳細は展覧会公式サイトをご覧ください。

Exhibition overview

Period: November 14 (Sat.), 2026 – March 28 (Sun.), 2027

Closed: Mondays (Except November 23, 2026, January 4 and 11, and March 22, 2027), November 24 (Tue.), from December 22 (Tue.), 2026 to January 3 (Sun.), 2027, January 12 (Tue.) and March 23 (Tue.), 2027

Hours: 9:30-17:30 (Until 20:00 on Fridays) *Final admission 30 minutes before closing

Venue: Tokyo Metropolitan Art Museum (Tokyo Ueno Park)

Admission: General ¥2,400 (¥2,200) / College students ¥1,300 (¥1,100) / Seniors 65+ ¥1,600 (¥1,400) () Advance tickets. *Visitors 18 years old or younger and students of high-school grade or lower will be admitted free. *College students and vocational school students will be admitted free weekdays for a limited period from December 8 (Tue.) – 18 (Fri.).



展覧会公式サイト



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

東京
上野公園

M
40

Musée d'Orsay

NIKKEI
For a better world 150th

オルセー美術館所蔵

東京都美術館 開館100周年記念



100th Anniversary

愛日
おし
い

それ
でも

2026 11.14 sat. 2027 3.28 sun.

休室日=月曜日、11/24(祝)、12/22(祝)～2027.1/3(日)、1/12(祝)、3/23(祝)
(ただし11/23(祝)、1/4(日)、1/11(祝)、3/22(祝)は開室)

開室時間=9:30～17:30、金曜日は9:30～20:00(入室は閉室の30分前まで)
お問い合わせ=050-5541-8600 (ハローダイヤル)

100th Anniversary of the Tokyo Metropolitan Art Museum What a Wonderful World: Masterworks from the Musée d'Orsay

主催=東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)、オルセー美術館、日本経済新聞社、テレビ東京、BSテレビ東京

協賛=SMBC日興証券、大林組、第一生命保険、ダイキン工業、DNP大日本印刷、大和ハウス工業、高砂熱学工業

後援=在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ 協力=日本航空、日本貨物航空

19世紀、芸術家たちは身近な「いま」を表すことに強い関心を向けるようになります。産業の発展によって中産階級が増え、技術革新により社会が大きく変わった時代でした。新しく生まれた生活や風景は、それまでとは異なる新しい様式で表現されました。作品には、日々の暮らしにささやかな幸せを見つけながら、激動の時代をたくましく生きる人々の姿が映し出されています。

本展では、「印象派の殿堂」とも称されるオルセー美術館のコレクションから、「いまを生きる歓び」をテーマに絵画・彫刻・工芸・写真など約110点をご紹介します。身近な「いま」を見つめた芸術家たちがすくい上げた「生きる歓び」。それらはきっと、

自然の美を見出す



エミール・ガレ《フラコン形の花瓶》
1890-1900年頃
©Grand PalaisRmn (musée d'Orsay) / Adrien Didierjean / distributed by AMF

In the 19th century, various artists began taking a keen interest in expressing the “here and now” of daily life. This shift came at a time when the middle class was expanding with the growth of industry, and technological innovations were dramatically reshaping society. The new lifestyles and scenes that emerged were recorded by artists through novel forms of expression, giving rise to works that presented subjects finding small joys in the everyday as they resiliently navigated life in an era of tumultuous change.

This exhibition will present around 110 works from the veritable “temple of Impressionism,” the Musée d'Orsay, representing diverse media such as painting, sculpture, decorative arts, and photography, all tied together by the theme of “What a Wonderful World.” These snapshots of the joys of life promise to inspire us to make new discoveries and acquire fresh perspectives in the midst of our own era of rapid social change.

ビエール・オーギュスト・ルノワール《読書する人》
1874-76年の間に制作
© Grand PalaisRmn (musée d'Orsay) / Adrien Didierjean / distributed by AMF



エドガー・ドガ《ル・セルタイニ通りのオペラ座の稽古場》1872年
©Grand PalaisRmn (musée d'Orsay) / Tony Querre / distributed by AMF

生きる歓び



1

よく食べ、よく働き、よく眠る

1. ジャン＝フランソワ・ミレー《落穂拾い》1857年
©Musée d'Orsay, Dist. Grand PalaisRmn / Patrice Schmidt / distributed by AMF
2. ギュスターヴ・カイユボット《床削り》1875年
©Grand PalaisRmn (musée d'Orsay) / Franck Raux / distributed by AMF

chapter: 3

日々を重ねる



ビエール・ボナール《室内》1920年頃
©Grand PalaisRmn (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF



幸せの手ざわり

3. フィンセント・ファン・ゴッホ《星月夜》1888年
©Grand PalaisRmn (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF
4. ポール・ゴーガン《アレアレ》1892年
©Grand PalaisRmn (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

※すべてオルセー美術館蔵



4

それでも世界は美しい

いまを

ルイ・ブナガン
《アフリ・チャリ》1890年頃
©Musée d'Orsay, Dist. Grand PalaisRmn / Patrice Schmidt / distributed by AMF



も、貧富も問わず

いまを生きる歓びシネマウィーク

詳細は展覧会公式サイトをご確認ください。

上映場所 東京都美術館 講堂

映画観覧料金 無料(※ただし本展チケットまたは半券が必要です)

開催期間 12月1日(火)～12月6日(日)

〔シネマA〕
『落穂拾い』
2000年/82分/フランス
監督・脚本・語り：アニエス・ヴァルダ



©2000 ciné-tamaris

〔シネマB〕
『フレンチ・カンカン』
1954年/104分/フランス＝イタリア
監督・脚本・台詞：ジャン・ルノワール



©1954 Gaumont - Jolly Films

〔シネマC〕
『永遠の門 ゴッホの見た未来』
2018年/111分/
イギリス・フランス・アメリカ
監督：ジュリアン・シュナーベル



© Walk Home Productions LLC 2018



3



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36
○JR 上野駅「公園改札」より徒歩7分
○東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分
○京成電鉄京成上野駅より徒歩10分
※駐車場はありませんので、車での来場はご遠慮ください。
＊7 min walking from JR Ueno Station “Park Gate”.
＊10 min walking from Ueno Station “Exit 7”, Tokyo Metro Ginza Line, Hibiya Line.
＊10 min walking from Keisei Line Keisei Ueno Station.

